

※本書に記載されているイラストはイメージです。

# 取扱説明書

タニタ アルコール検知器

Professional

FC - 1200/1200F

## もくじ

### 本器について

●ご使用の流れ	2
●使用目的に関するご注意	3
●定期メンテナンスの流れ	4
●安全上のご注意	6
●各部の名称/付属品	11

### 準備する

●電池を入れる/交換する	13
●シガーアダプターを使用する	14
●設定する	15
●設定の変更をする	21
●準備する	22

### 使い方

●測定する	24
●クリーニングについて	30
●センサー寿命について	31
●メモリーを見る/消去する	32
●通信仕様を選択する	36

### 必要なとき

●簡易点検について	37
●故障かな？	42
●仕様	裏表紙

### お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要な時はすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

本器について

準備する

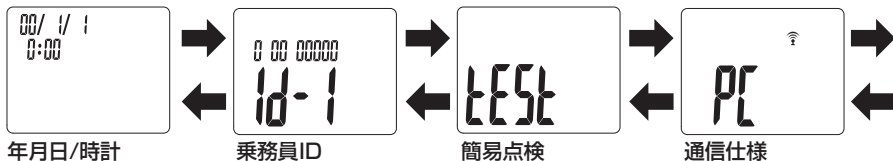
使い方

必要なとき

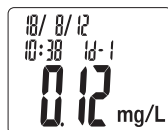
# ご使用の流れ

1. 電池を入れる(☞P.13)  
シガーアダプターを使用する(☞P.14)

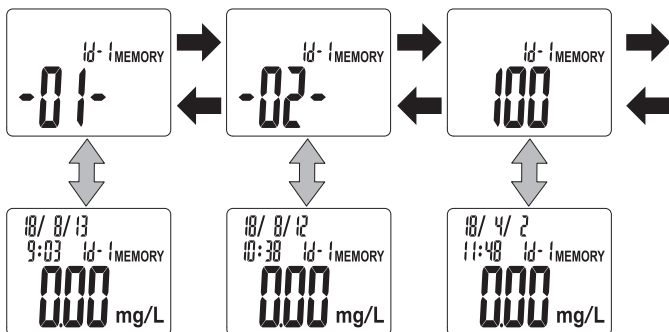
2. 設定する(☞P.15)



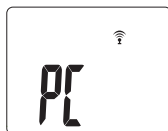
3. 測定する(☞P.24)
4. 測定結果を見る(☞P.27)



5. メモリーを見る(☞P.32)



6. 通信仕様を選択する(☞P.36)



7. 簡易点検について(☞P.37)



# 使用目的に関するご注意

## 警告



道路交通法第65条第1項には、「何人も、酒気を帯びて車両等を運転してはならない。」と遵守事項が定められています。本器の測定データは飲酒の有無を判断するための一つの判断材料であって、運転の可否を判断するものではありません。測定結果に基づいて、車両の運転や機器の操作などを行って良いか否かの判断に対して、本器の製造者、および販売に携わる関係者は一切責任を負いません。

# 定期メンテナンスの流れ



必ず守る

アルコール検知器はお客様ご自身で行う日常点検のほかに、定期メンテナンスが必要です。  
定期メンテナンスを行わずご使用された場合、精度の保証はいたしかねます。  
継続的にお使いいただく場合には、定期メンテナンス期限内に定期メンテナンスの実施をご依頼ください。

保証書をお手元に用意してください。

※保証書を紛失された場合は、タニタ定期メンテナンス窓口へご連絡いただき、その旨お伝えください。

定期メンテナンス期限が  
近づいた場合



タニタ定期メンテナンス窓口より  
メールでご案内いたします。

必要事項を確認し、案内に沿ってお手続きをお願いします。



定期メンテナンス期限が切れる前に  
センサー使用時間の上限を超えた  
場合



タニタ定期メンテナンス窓口  
に「定期メンテナンスの実施」を  
ご依頼ください。

必要事項を確認し、お手続きについてご説明いたします。

**電話：03-3558-8118**

**FAX：03-3558-0335**

受付時間/9:00～17:00

(土・日・祝日・夏季休暇・年末年始は除く)

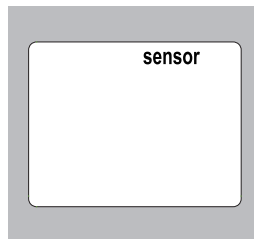


交換器のお届けと定期メンテナンス期限切れ機器のご返却

お届けした交換器をご使用ください。定期メンテナンス期限切れ機器は案内に沿って速やかにご返送ください。

## ■定期メンテナンス実施のタイミング

定期メンテナンス日が近づきましたら、タニタ定期メンテナンス窓口より定期メンテナンスの実施をご案内いたします。ただし、次のような場合は、タニタ定期メンテナンス窓口に定期メンテナンスの実施をご依頼ください。



### 1. 「sensor」が表示された場合

#### 定期メンテナンスの予告

センサー使用時間、累計約55時間以上(約20000回\*1の測定に相当)になると「**sensor**」が点滅します。

定期メンテナンスされる場合は、タニタ定期メンテナンス窓口までご連絡ください。  
(本書P.4参照)

#### 定期メンテナンスのお知らせ

センサー使用時間、累計約58時間以上(約21000回\*1の測定に相当)になると測定できません。「**Err**」が点滅します。

※測定結果がきちんと表示された場合に、センサー使用回数として自動カウントされます。  
測定中断したり、「**Err**」が出た場合はカウントされません。

### 2. センサー使用日数が365日以上経過した場合

センサーの精度は、センサー使用回数に関わらず時間とともに低下します。

#### 定期メンテナンス予告

センサー使用日数が365日以上になると「**sensor**」が点滅します。

#### 定期メンテナンスのお知らせ

センサー使用日数が400日以上経過すると測定できません。「**Err05**」が表示します。





※本器はセンサーの特性上、センサー使用日数365日以上経過、またはセンサー使用時間、累計約55時間以上(約20000回\*1の測定に相当)になると一定の精度を保持できなくなるおそれがあります。

このような場合には精度の保証はいたしかねます。

※1 0.05mg/L以上の呼気測定を続けた場合、センサーの使用時間が短くなります。

# 安全上のご注意

本書では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただきたいことを次のように説明しています。本文をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷を負うおそれのある」内容です。		
 <b>注意</b>	この表示の欄は「損害を負うおそれまたは物的損害が発生するおそれのある」内容です。		
 禁止	してはいけない「禁止」内容です。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。
<b>お願い</b>	本器を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。	<b>お知らせ</b>	本器の使用・点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。

## 取り扱いについて

### ⚠ 警告



禁止

- 分解や改造は絶対にしない。
  - ▶ センサーには酸性の材料が使われていますのでけがをするおそれがあります。眼に入ると失明することがあります。万が一付着した場合、直ちに付着部分を大量の水で15分以上洗い流し、医師の処置を受けてください。
- 本器を子どもの手の届く場所に置かない。
  - ▶ 付属のマウスピース等を誤飲してけがをするおそれがあります。万が一飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- 本器や電池を加熱しない。
  - ▶ 本器の変形や電池の発火によりけがや火災の恐れがあります。

### ⚠ 注意



禁止

- 充電式の電池を使用しない。
  - ▶ 公称電圧が1.2V以下の充電式電池は、本器の動作に必要な電圧が得られないため、誤動作や故障の原因となります。必ず指定の電池(単3形アルカリ乾電池)を使用してください。
- 新しい電池と古い電池、種類の違う電池を同時に使用しない。マンガン乾電池を使用しない。
  - ▶ 液漏れや発熱、破裂のおそれがあり、本器の故障、けがなどの原因になります。
- 電池は火中に投じない。
  - ▶ 破裂してけがをするおそれがあります。
- 本器の水洗いは絶対にしない。
  - ▶ 故障するおそれがあります。
- 過度の衝撃や振動を与えない。
  - ▶ 故障するおそれがあります。
- 電池を入れるときは、極性(⊕⊖)の方向を間違わない。
  - ▶ 液漏れなどで、床等を汚損するおそれがあります。(長時間ご使用にならない場合は、電池を本器から取りはずしてください。)
- シガーアダプターをご使用の場合、濡れた手でプラグを抜き差ししない。
  - ▶ 感電の原因となるおそれがあります。



必ず守る

- 10℃以上の温度差がある場所に移動させた場合、2時間以上放置してからご使用ください。
  - ▶ 正しい測定ができない場合があります。放置してからご使用ください。

# 安全上のご注意(つづき)

## ⚠ 注意



禁止

- シガーアダプターのコードやコネクタが傷んだり、ジャックの差し込みがゆるい場合は使用しない。
- シガーアダプターのプラグにごみやほこり等を付着させない。
- シガーアダプターのコードを釘等で固定しない。
- シガーアダプターのコードの上に重いものを置かない。  
▶感電やショート、発火の原因となります。



必ず守る

- 本器の性能、品質維持のため、必ず専用シガーアダプターをご使用ください。  
▶DC12/24V、マイナスアース車以外では使用できません。
- 使用時以外はシガーアダプターを車の差し込み口から抜いてください。
- シガーアダプターを車の差し込み口から抜くときはコードを引っ張らずに必ずシガーアダプターを持って抜いてください。コネクタを本器から抜くときはコネクタを持って抜いてください。
- ⏻ボタンを押しても動かない場合や異常を感じたときは使用を中止し、すぐにシガーアダプターを抜いて点検修理を依頼してください。  
▶感電やショート、発火の原因となります。



## 保管について

### ⚠ 注意



- 保管のときは必ずセンサーキャップをつけてハードケースに保管してください。また、次のようなところには絶対に保管しないでください。
  - ▶故障するおそれがあります。
    - ・芳香剤、たばこ、スプレー等のおいしの強いところ。
    - ・直射日光の当たるところ。
    - ・暖房器具に近いところ。
    - ・温度や湿度の変化の大きいところ。
    - ・保管場所範囲外のところ。（車内などは温度が高くなり、寒冷地では温度が低くなりますので絶対に放置しないでください。）
    - ・湿度が高いところ、または水のかかるようなところ。
    - ・湿度の低いところ。
    - ・ほこりが発生しやすいところ。
    - ・トイレ内やトイレの近くなど、アンモニアの影響があるところ。
- アルコールを含む除菌剤などの近くに本器を置かないでください。
  - ▶においや水滴によりセンサーが故障するおそれがあります。
- 本体にマウスピースやストローホルダーを取り付けた状態で保管しないでください。
  - ▶においや水滴によりセンサーが故障するおそれがあります。

## お手入れについて

### ⚠ 注意



#### 本器

- 本器の汚れは水で湿らせ固く絞った柔らかい布で拭いてください。
  - ▶清掃に熱湯や洗剤、除菌グッズ、ベンジン、シンナー、アルコール等は使用しないでください。
  - 薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。

#### マウスピース/ストローホルダー

- ご使用いただく前にマウスピース/ストローホルダーに亀裂などの異常がないか確認してください。
  - ▶異常がある場合、正しく測定できないおそれがあります。
- マウスピース/ストローホルダーを洗淨するときは、水洗いしてください。
  - ▶熱湯や洗剤、除菌グッズ、ベンジン、シンナー、アルコール等は使用しないでください。
  - 薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。

# 安全上のご注意(つづき)

## 測定について

### ⚠ 警告



禁止

- 車両の運転や機械操作の最中に測定しない。
  - ▶ 注意散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。  
自動車等の運転中に本器を使用したことに起因する事故に対して、本器の製造者および販売にたずさわる関係者は一切の責任は負いません。
- 複数の人で一つのマウスピース/ストローホルダー/ストローを使い回さない。
  - ▶ 感染症のおそれがあります。本器を複数の人が使用する場合には、それぞれの人が必ず自分のマウスピース/ストローホルダー/ストローを使用してください。
- 測定のときにマウスピース/ストローをくわえたまま、息を吸い込まない。
  - ▶ 誤って吸い込むと、故障したり、けがをするおそれがあります。

### ⚠ 注意



禁止

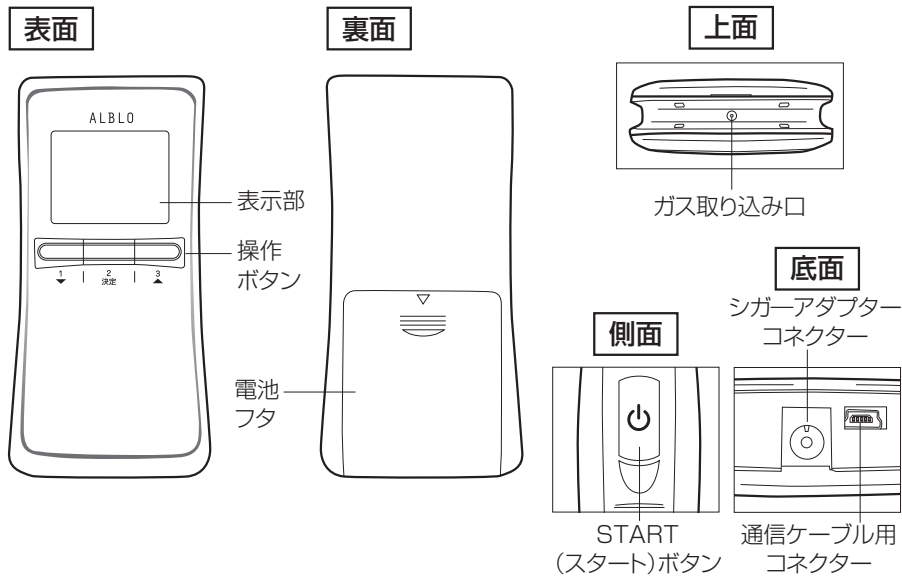
- 唾液や水などがセンサー内部に入らないように注意する。
  - ▶ 故障するおそれがあります。



必ず守る

- マウスピース/ストローホルダー/ストローに強いにおいや汚れがある場合は新しいものに交換してください。
  - ▶ においや汚れが付着している場合、正しく測定できないおそれがあります。
- 食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に使用しないでください。
  - ▶ 本器は、呼気中のアルコール濃度を測定するため、お酒を飲んでいなくてもアルコール成分を含んだものやにおいの強いものを口にした後、センサーが反応することがあります。  
例：たばこ、オーラルケア用品等  
うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。

# 各部の名称/付属品



## 付属品

- 取扱説明書
  - マウスピース×3本
  - お試用単3形アルカリ乾電池 (LR6)×2本
  - センサーキャップ (本体装着済)
  - 収納ハードケース
  - 通信ケーブル
  - シガーアダプター
  - ストローホルダー
- RS232C、Dサブ9ピン(オス)コネクタに接続
- 本器通信ケーブル用コネクタへ接続

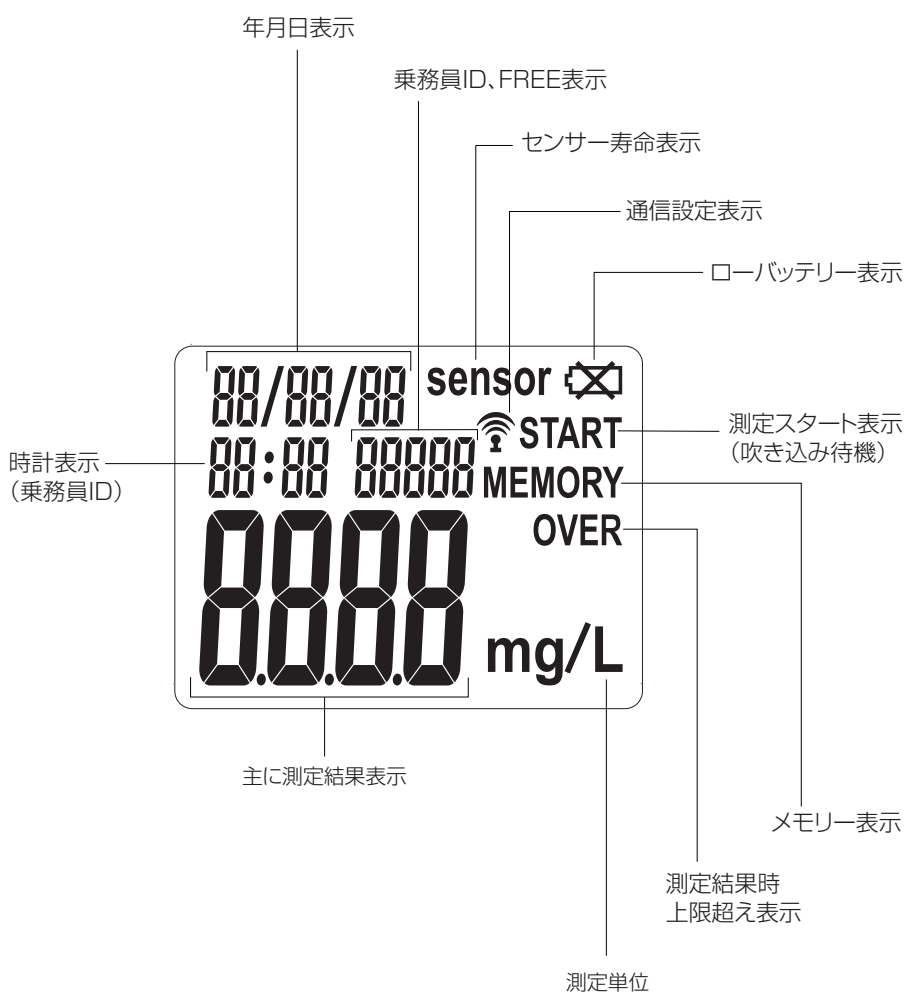
通信ケーブルは、PC管理ソフト FC-1200PCを使用する際に必要です。PC管理ソフトの購入を希望される場合は、弊社お客様サービス相談室(裏表紙)までご連絡ください。

※不足しているものがありましたら、弊社お客様サービス相談室(裏表紙参照)までご連絡ください。  
 ※ストローは付属しておりません。ストローで測定する場合は市販のストローを購入してください。  
 ※簡易点検キットは付属しておりません。  
 簡易点検を実施する場合は、簡易点検キット(オプション品)を購入する必要がありますので、タニタオンラインショップ(URL <https://shop.tanita.co.jp/>)でお求めください。

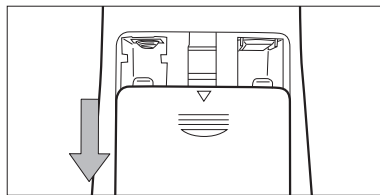
本器のしくみ

# 各部の名称/付属品 (つづき)

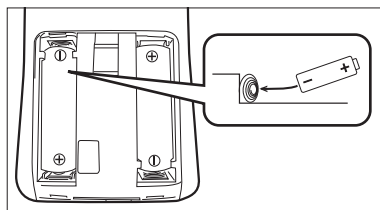
## 表示部



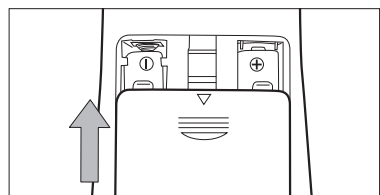
# 電池を入れる/交換する



1. 本体裏面の電池フタをスライドさせて外す。



2. 電池の $\oplus$  $\ominus$ の向きをよく確認してから入れる。



3. 電池フタを取り付けます。「カチッ」と音がするまで押し込む。

電池が消耗してくると「 $\text{LO}$ 」が表示されます。速やかに新しい単3形アルカリ乾電池2本と交換してください。必ず2本同時に交換してください。

## お願い



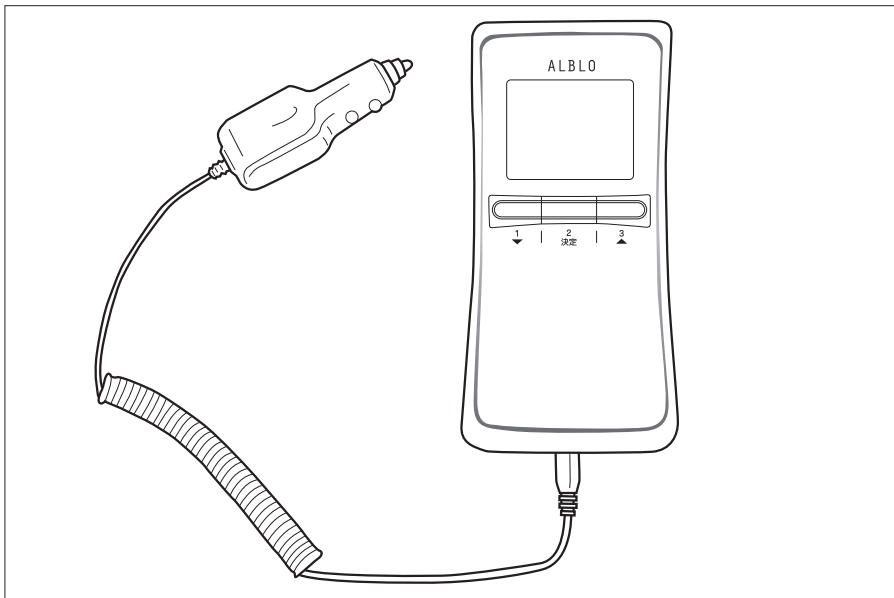
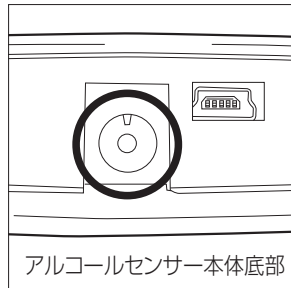
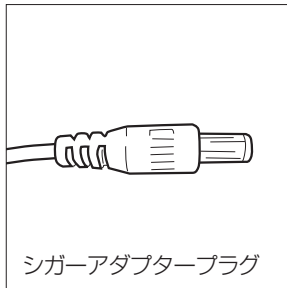
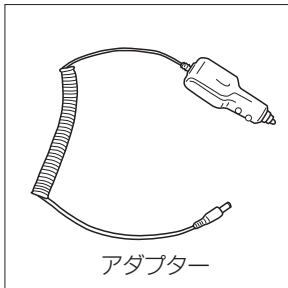
禁止

- 充電式の電池を使用しない。
  - ▶ 公称電圧が1.2V以下の充電式電池は、本器の動作に必要な電圧が得られないため、誤動作や故障の原因となります。必ず指定の電池(単3形アルカリ乾電池)を使用してください。
- 新しい電池と古い電池、種類の違う電池を同時に使用しない。
  - ▶ マンガン乾電池を使用しない。
  - ▶ 液漏れや発熱、破裂のおそれがあり、本器の故障、けがなどの原因になります。
- 電池を入れるときは、極性( $\oplus$  $\ominus$ )の方向を間違わない。
  - ▶ 液漏れなどで故障するおそれがあります。
  - (長期間で使用にならない場合は、電池を本器から取りはずしてください。)

## お知らせ

- 付属の「お試し用電池」は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。
- 使用済み電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処分してください。

## シガーアダプターを使用する



1. シガーアダプターのプラグを本体に差し込み、シガーアダプターをDC12V/24Vシガーソケットに差し込んでください。

## お願い

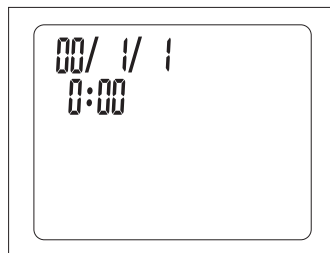


- マイナスアース車以外では使用しない。

# 設定する

## 設定選択

「年月日 / 時計」設定、「乗務員 ID」設定、「簡易点検」、「通信仕様」設定の選択ができます。

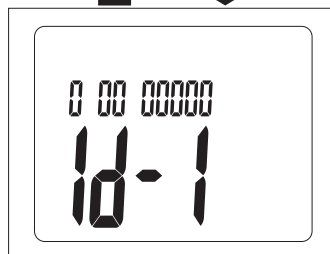


1.電源が入っていない状態で「**0**」ボタンを約3秒長押しすると年月日/時計が表示される。

**1** または **3** を押して「乗務員ID」「簡易点検」「通信仕様」「年月日/時計」の切り替えができる。

**2** (決定) を押して設定ができます。

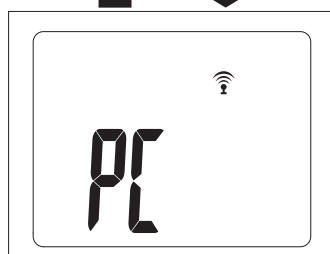
約1分間操作しない場合電源が切れます。



2.乗務員ID  
(本書P.19参照)



3.簡易点検  
(本書P.37参照)

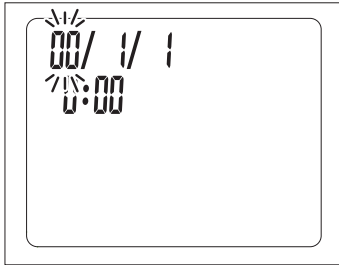


4.通信仕様  
(本書P.36参照)

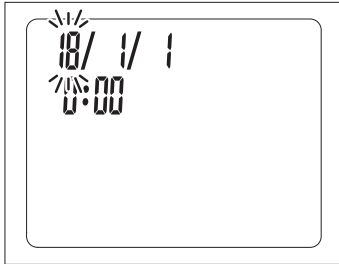
# 設定する(つづき)

## 年月日の設定をする

例：2018年 8月12日に設定する場合



1. 設定選択で年月日/時計を表示させて **2** を押す。



2. **1** または **3** を押して選択し、**2** を押して設定する。

**1** または **3** を長押しすると早送りする。

(設定範囲2000年～2049年)

例：2018年に設定する場合。

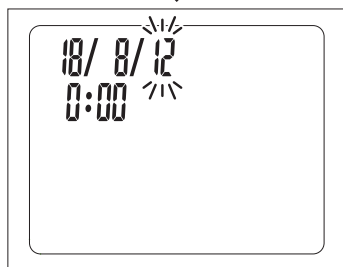
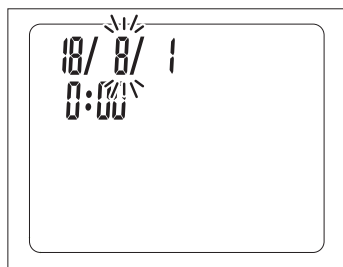
「18」を選択する。





## 年月日の設定をする(つづき)

西暦設定後、同様の操作で月、日、時計(時、分)の設定をしてください。



### 月の設定

または  を長押しすると早送りする。

例：8月に設定する場合。

「8」を選択する。

### 日の設定

または  を長押しすると早送りする。

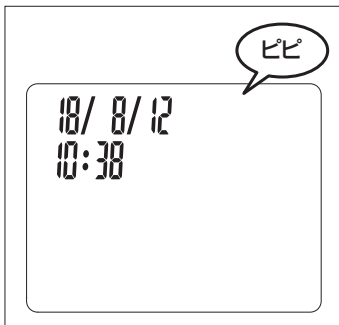
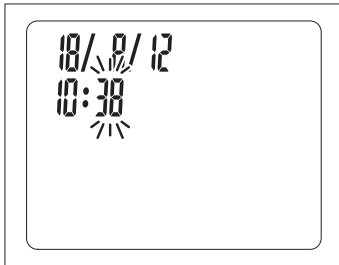
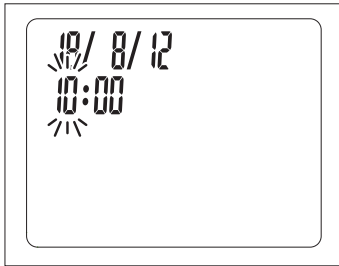
例：12日に設定する場合。

「12」を選択する。

# 設定する(つづき)

## 時計の設定をする

例：午前10時38分に設定する場合（24時間表示）



### 時の設定

**1** または **3** を長押しすると早送りする。

例：10時に設定する場合。

「10」を選択する。

### 分の設定

**1** または **3** を長押しすると早送りする。

例：38分に設定する場合。

「38」を選択する。

**2** を押すと「ピピ」と音がして電源が切れる。

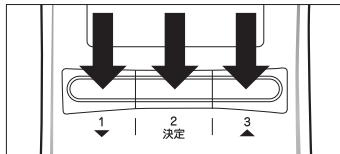
約1分間操作しない場合電源が切れます。

操作を中断した場合、約1分間で電源が切れます。

## 乗務員IDの選択と設定をする

乗務員IDの設定をします。

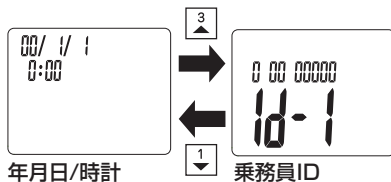
- ・乗務員IDを設定すると個人の測定結果をメモリーすることができます。
- ・乗務員IDを設定することができます。
- ・乗務員IDは最大3名まで設定できます。



1 は「id-1」、2 決定 は「id-2」、3 は「id-3」です。

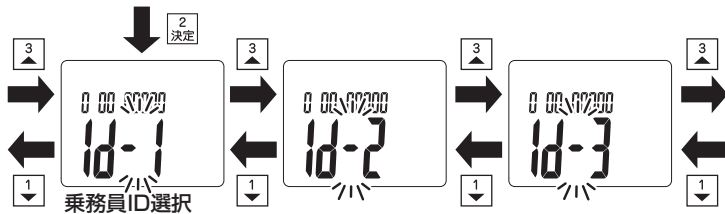
1. 「1」を約3秒間長押しをして設定選択を表示させたあと、乗務員IDを表示させて

2 決定 を押す。(本書P.15参照)



年月日/時計

乗務員ID



乗務員ID選択

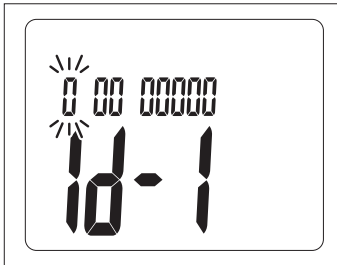
2. 1 または 3 で「id-1」「id-2」「id-3」と切り替える。

「id-1」を選択して 2 決定 を押すと乗務員ID設定に切り替わります。

# 設定する(つづき)

前ページからのつづき

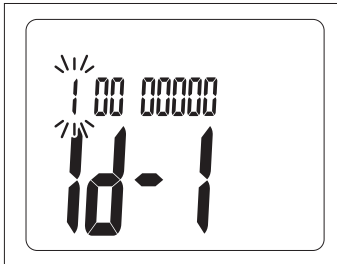
例：乗務員IDを「1 12 2008 12」に設定する場合



初期値は「0 00 000000」

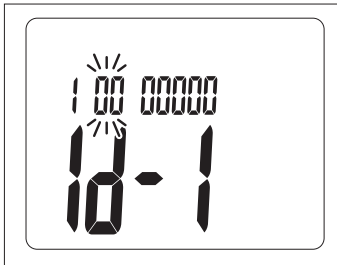
1. 数値を選択する。

0～9の数値で8桁の設定ができます。

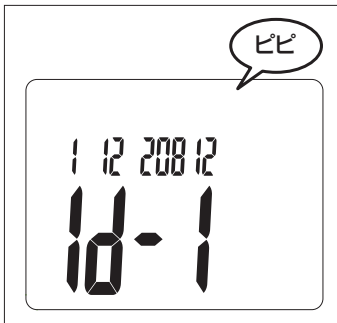


2.  または  を押して数値を選択する。

「|」を選択して  を押す。



3. 1桁目と同様の操作で2桁目～8桁目を選択決定する。



4.  を押すと「ピピ」と音がして電源が切れる。

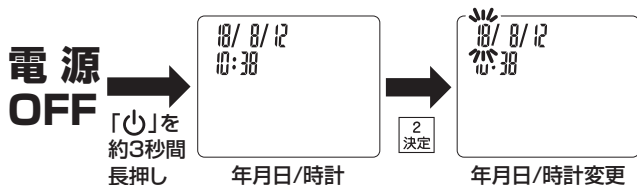
約1分間操作しない場合電源が切れます。

設定途中の場合は完了していないので元の設定に戻ります。

設定は完了です。

# 設定の変更をする

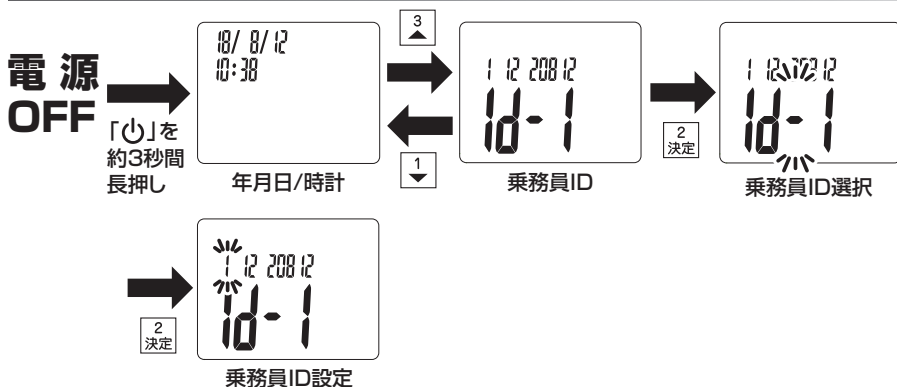
## 年月日/時計の設定を変更する



電源が入っていない状態で「**⏻**」を約3秒間長押しをして設定選択を表示させたあと、年月日/時計が表示させて「**2 決定**」を押す。(本書P.15参照)

本書P.16参照して年月日/時計の設定を変更してください。

## 乗務員IDの選択と設定を変更する



電源が入っていない状態で「**⏻**」を約3秒間長押しをして設定選択を表示させたあと、乗務員IDを表示させて「**2 決定**」を押す。(本書P.15参照)

乗務員ID選択が表示されたら「**2 決定**」を押すと乗務員ID設定の変更が表示される。

P.20参照して乗務員IDの設定を変更してください。

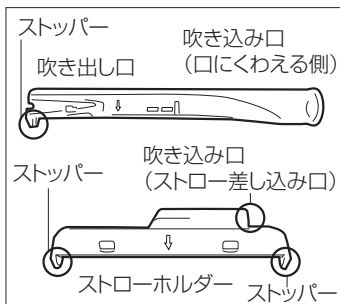
# 準備する

マウスピース、ストローどちらで測定するか決めてください。

マウスピース、ストローホルダーは取り付け方向を定めていませんので、左右どちらでも取り付け可能です。

## ストローで測定する場合

- ・ストローでの測定結果は精度保証できないため参考値となります。
- ・付属のストローホルダーをご使用ください。
- ・ストローの太さは6mm、長さは短く切るかそのままご使用ください。
- ・ストローは付属していません。市販品のストローを購入してください。

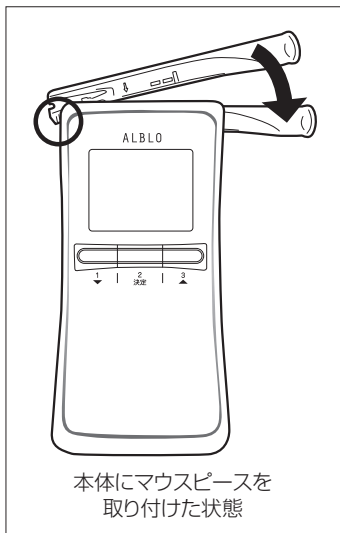


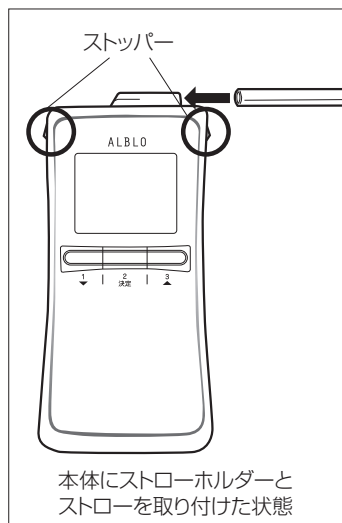
マウスピース、ストローホルダーの、端面にストッパーがついている。

## マウスピースを使う場合

本体にマウスピースを取り付ける。

ストッパーを左図の位置にひっかけてからはめ込むと、「カチッ」と音がして所定の位置に取り付けられます。





### ストローを使う場合

本体にストローホルダーとストローを取り付ける。

ストッパーを左図の位置にひっかけてからはめ込むと、「カチッ」と音がして所定の位置に取り付けられます。

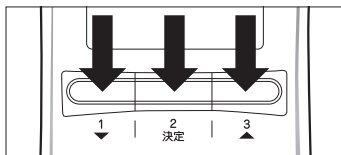
ストローはストローホルダーの差し込み口に挿入してください。

## お知らせ

- マウスピースやストローホルダーを本体に取り付けるときは、左右にスライドさせて取り付けないでください。
  - ▶ガス取り込み口が破損するおそれがあります。
- 本体にマウスピースやストローホルダーを取り付けた状態で保管しないでください。
  - ▶測定が終わりましたら本体から外してください。
  - ▶においや水滴によりセンサーが故障するおそれがあります。
- ストローホルダーを使用して連続測定をすると水滴がセンサー内部に入る可能性がありますので連続測定はお控えください。
  - ▶故障のおそれがあります。

# 測定する

## 測定する



それぞれ乗務員IDを選択設定した / / を選んで測定してください。

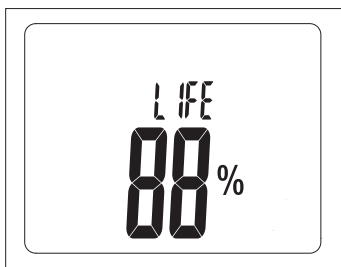
例：「」を選択して測定する場合



1. を約0.5秒押すと電源が入り使用回数が表示される。

※初回は「365」が表示されます。

(例：センサー使用残日数が321日の場合)

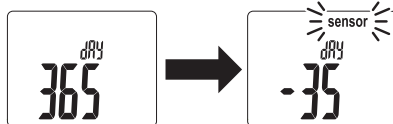


※初回は「100」が表示されます。

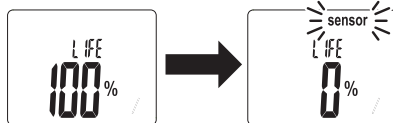
(例：センサー使用残時間が88%の場合)

## お知らせ

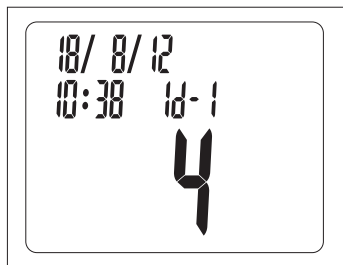
●センサー使用日数は365日から使用開始して最大400日です。



●センサー使用時間は100%から使用開始して最小0%です。

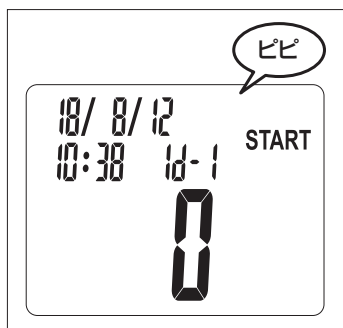





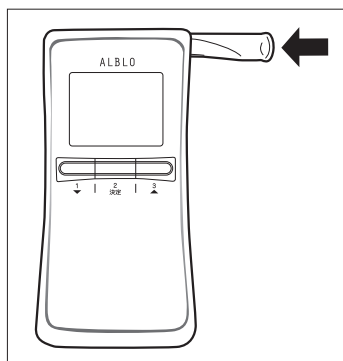


2.自動的にカウントダウンを開始する。

「4 → 3 → 2 → 1 → 0」



3.カウントダウンが終了後、「START」と「」が表示される。



4.マウスピースを口にくわえて、約5秒間息を吹き込む。

「ピー」と音がしている間、吹き込み続け「カチッ」となったら吹き込みをやめてください。

### 警告



禁止

- 測定のときにマウスピース/ストローをくわえたまま、息を吸い込まない。  
▶誤って吸い込むと、故障したり、けがをするおそれがあります。
- 唾液や水などがセンサー内部に入らないように注意する。  
▶故障するおそれがあります。
- マウスピースの吹き出し口側を指でふさがない。  
▶正しく測定できないおそれがあります。

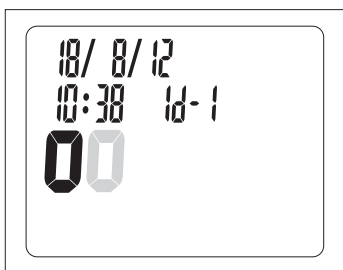
# 測定する(つづき)

前ページからのつづき

## お知らせ

- 「START」が表示されてから約10秒以内に息を吹き込んでください。

▶約10秒以上たってから息を吹き込むと「Er01」が点滅し、「ピピピ…」と音がして電源が切れます。



吹き込み検知すると、「吹き込み中」「吹き込み不足」「吹き込み中断」を判定します。

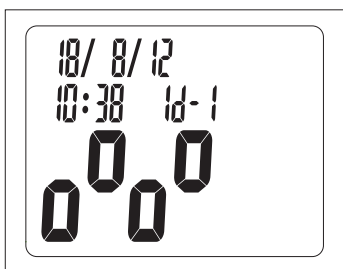
## お知らせ

- 吹き込みが不足していたり、吹き込みを中断すると判定できません。

▶「Er02」が点滅し、「ピピピ…」と音がして電源が切れます。

- マスピースの吹き出し口側を指でふさがらないでください。

▶正しく測定できないおそれがあります。

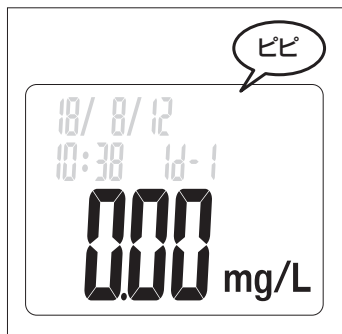


5.アルコール濃度を解析する。

## お知らせ

- 連続測定したときや測定濃度により、解析時間が長くなる場合があります。

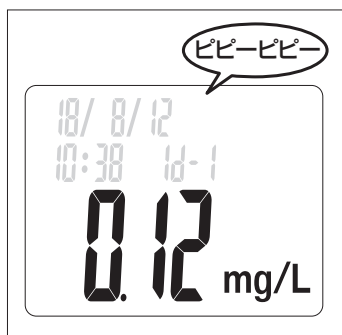
## 測定結果を見る



### 6.測定結果が表示される。

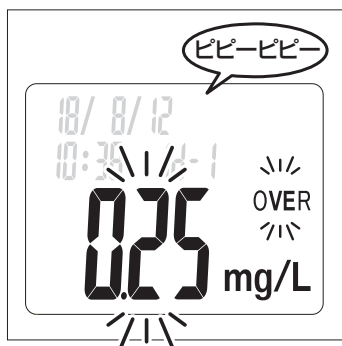
アルコールが検知されなかった場合

「ピピ」の音とともに「000」が表示されます。



アルコールが検知された場合

「ピピーピピー」の音とともにアルコール濃度が表示されます。



アルコール濃度が上限値を超えた場合

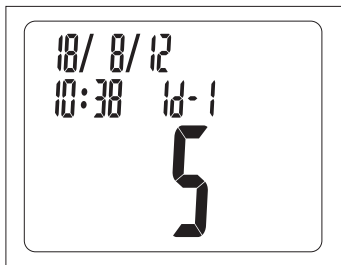
「ピピーピピー」の音とともに「OVER」と「025」が点滅します。

## お知らせ

- 測定結果は約10秒間表示されます。測定結果表示中にいずれかのボタンを押すとセンサークリーニング・カウントダウンに移行します。(本書P.28)

# 測定する(つづき)

## センサークリーニング



7.センサークリーニング・カウントダウンを開始する。

「5→4→3→2→1→0」

センサークリーニング・カウントダウンが終了すると約2秒後に電源が切れます。

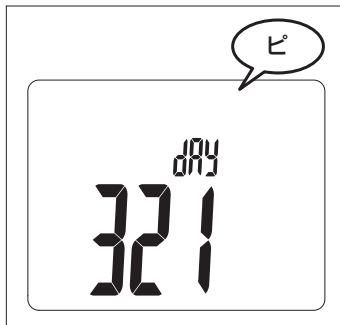
## お知らせ


●以下の条件によってセンサークリーニング・カウントダウンの時間が異なります。

- ▶測定結果0.00mg/L～0.25mg/L:約5秒間
- 測定結果0.25mg/L以上:約25秒間～約175秒間

## FREE測定

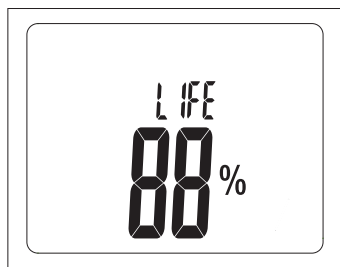
FREE測定は乗務員IDの設定なしで測定します。  
FREE測定の場合測定結果はメモリーされません。



1.「」を約0.5秒押すと電源が入り、センサー使用残日数とセンサー使用残時間が表示される。

※初回は「365」が表示されます。

(例：センサー使用残日数が 321 日の場合)



※初回は「100」が表示されます。

(例：センサー使用残時間が 88% の場合)



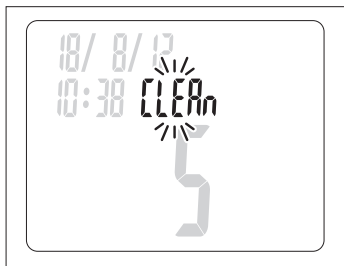
2.「FREE」と表示されて自動的にカウントダウンを開始する。

「4 → 3 → 2 → 1 → 0」

本書P.25 3.へ移行します。

# クリーニングについて

以下の場合には本体、マウスピース、ストロー、ストローホルダーにガスが残ることがあります。測定結果表示後「[[[An]]」が点滅したらマウスピースやストローホルダーを外して数回振りガスを取り除いてください。



- ・連続 20 回以上測定した場合。
- ・高濃度測定を行った場合。

## お知らせ

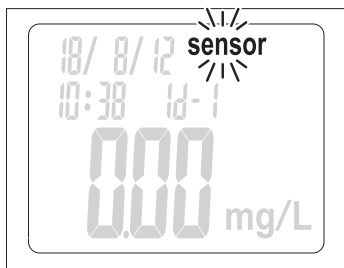
- 本体やマウスピース、ストロー、ストローホルダーにガスが残っていると正確な測定ができません。  
▶マウスピース、ストローホルダーを外して本体を数回振りガスを取り除いてください。
- 本体やマウスピース、ストロー、ストローホルダーに水滴が付着している場合は水滴をふきとってください。

# センサー寿命について

センサー使用回数365日以上経過、またはセンサー使用时间、累計約55時間以上(約20000回※1の測定に相当)になった場合のどちらか早い方です。

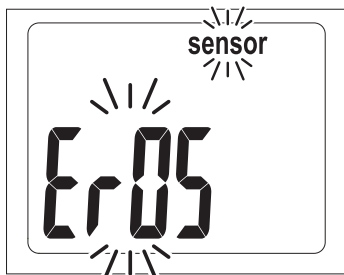
測定結果が表示されるとセンサー使用回数は1回カウントされます。測定中断したり「[r]」が表示された場合はカウントされません。

## センサー寿命の予告

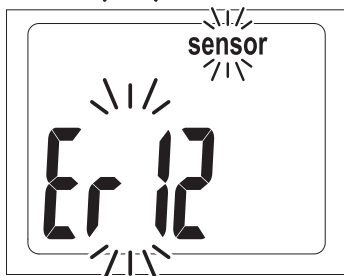


センサー使用日数が365日以上経過、またはセンサー使用时间、累計約55時間以上(約20000回※1の測定に相当)になった場合「**sensor**」が点滅。

## センサー寿命のお知らせ



センサー使用日数が400日以上経過すると測定不可。「**sensor**」と「**[Er 05]**」が点滅。



センサー使用時間が累計約58時間以上(約21000回※1の測定に相当)経過すると測定不可。「**sensor**」と「**[Er 12]**」が点滅。

※1 0.05mg/L以上の呼気測定を続けた場合、センサーの使用時間が短くなります。

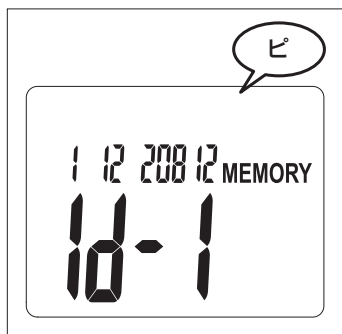
# メモリーを見る/消去する

## メモリーを見る

保存された測定結果(メモリー)の確認ができます。

- ・測定結果が表示されると自動的にメモリーとして保存します。
- ・メモリー件数は最大300件 (Id-1/100件 Id-2/100件 Id-3/100件) です。  
101回以上測定すると古いデータから消去されます。
- ・「Id-1」は一番新しい測定結果です。
- ・メモリーが保存されていないときは「…」が表示されます。

例：「Id-1」のメモリーを見る場合



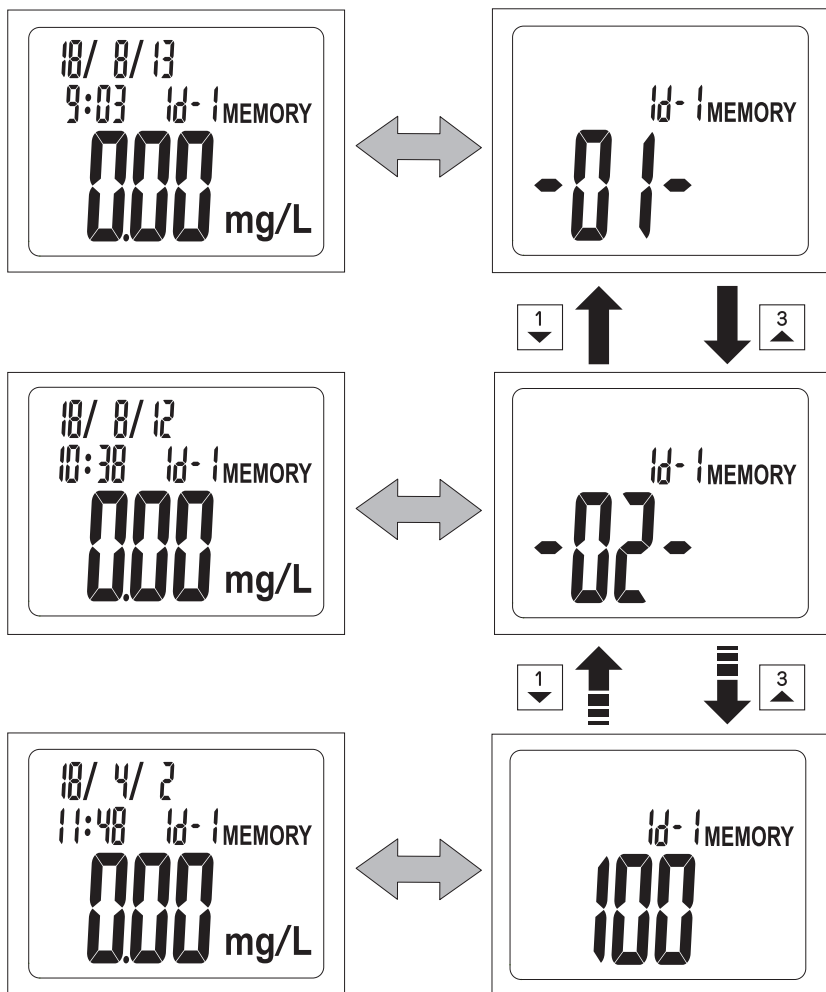
1.電源が入っていない状態で [1] を約3秒長押しすると「MEMORY」が表示される。


[2] 決定 を押す。

「Id-2」「Id-3」のメモリーを見る場合「Id-2」は [2] 決定、「Id-3」は [3] 決定 を約3秒間長押しをしてください。



2.「Id-1 MEMORY」が表示される。その後、 または  で保存されているメモリーを確認することができる。



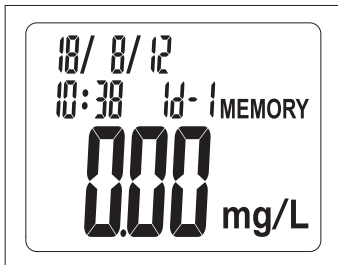
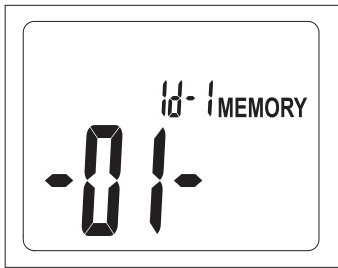
3.「」を押すと電源が切れる。  
また、約1分間操作しない場合電源が切れる。

# メモリーを見る/消去する(つづき)

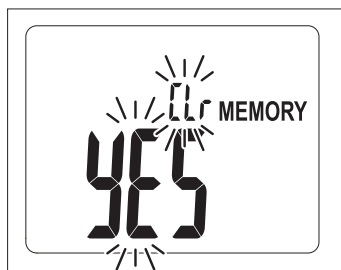
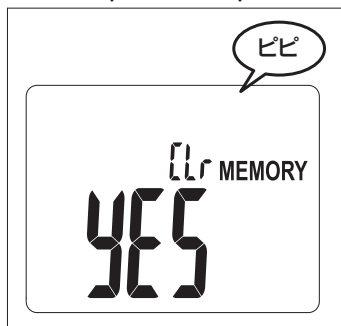
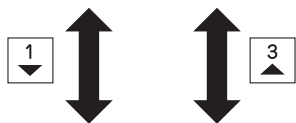
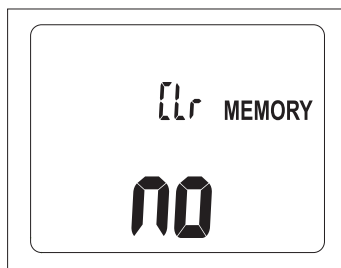
## 保存されたメモリーを消去する

選択した乗務員IDに保存されたメモリーをすべて消去することができます。

例:「10-1」メモリーを消去する場合。



1.本書P.32 1.と同じ操作をして「10-1」に保存されているメモリーを表示させる。



2. と を同時に約3秒長押しすると「MEMORY」が表示される。その後、 または で「NO」と「YES」を切り替える。

#### メモリーを消去しない場合

「NO」を選択して を押すとメモリー表示に戻る。  
メモリーは消去されません。

#### メモリー消去する場合

「YES」を選択して を押すと「ピピ」と音がしてメモリーが消去されます。

電源が切れたらメモリー消去完了です。

# 通信仕様を選択する

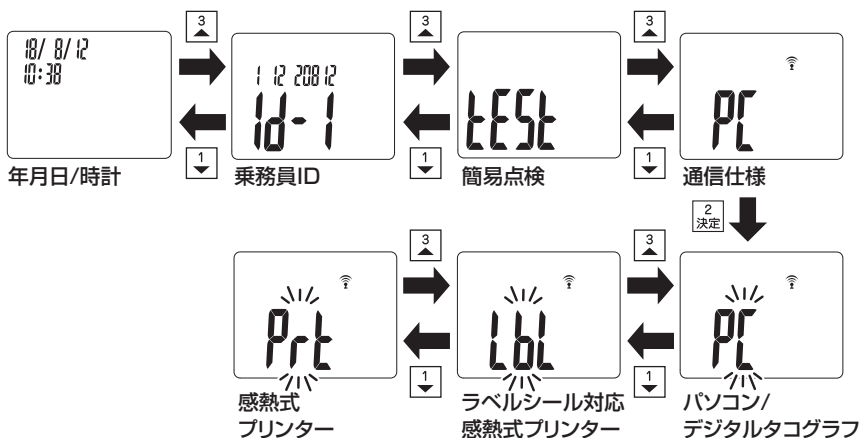
## お知らせ

- 通信ケーブルの向きを確認してから通信ケーブル用コネクタに差し込んでください。  
▶向きを間違えると故障するおそれがあります。
- 使用できる感熱式プリンターはタニタがオプション販売している専用感熱式プリンターのみ対応となります。  
感熱式プリンターをご購入の際は、弊社お客様サービス相談室までご連絡ください。

パソコン/デジタルタコグラフ/感熱式プリンターの中から通信先を選択することができます。

通信先の選択方法を説明します。

- 1.電源が入っていない状態で「**⏻**」を約3秒間長押しをして設定選択を表示させたあと、通信仕様を表示させて<sup>2</sup>決定を押す。(本書P.15参照)



2. <sup>1</sup> または <sup>3</sup> を押すと「パソコン/デジタルタコグラフ」「ラベルシール対応感熱式プリンター」「感熱式プリンター」と切り替えができる。  
使用する通信仕様を選択した状態で<sup>2</sup>決定を押すと決定する。  
「ビピ」と音がして約2秒後に電源が切れる。

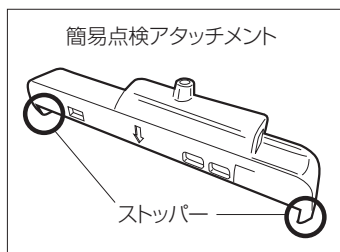
# 簡易点検について

酒気を帯びて測定したにもかかわらず測定結果でアルコールが検出されない場合に簡易点検を実施します。簡易点検キット(オプション)を購入してご使用ください。

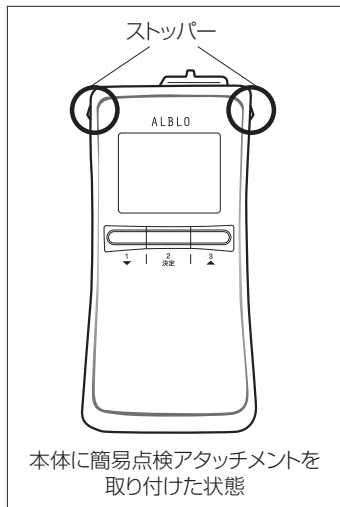
## お知らせ

- 簡易点検が1週間に1回程度であれば、簡易点検ガスは1年間は十分に使用できます。

## 準備する



簡易点検アタッチメントには、端面にストッパーがついている。



- 1.簡易点検アタッチメントを本体に取り付ける。  
ストッパーを左図の位置にひっかけてからはめ込むと、「カチッ」と音がして所定の位置に取り付けられます。

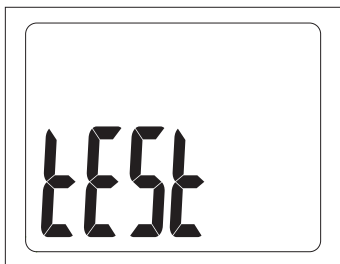
# 簡易点検について(つづき)

## 点検する

### お知らせ

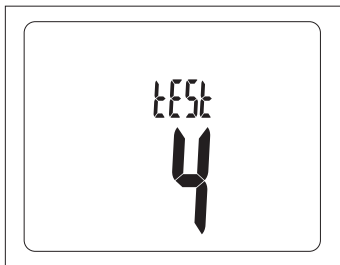
●測定して結果が表示されたあとすぐに簡易点検を行うときは、本体にガスが残っている場合があります。

▶本体を数回振ってガスを取り除いてください。



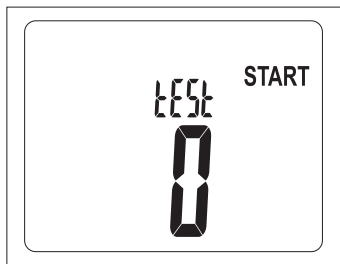
1. 設定選択で簡易点検「tEst」を表示させる。

(本書P.15参照)



2. <sup>2</sup>決定を押すとカウントダウンを開始する。

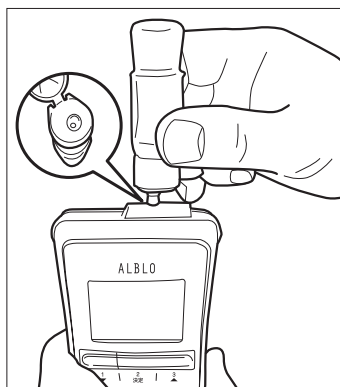
「4 → 3 → 2 → 1 → 0」



3.「START」が表示されたら簡易点検ガス容器のキャップを開けて約3秒簡易点検アタッチメントにセットする。

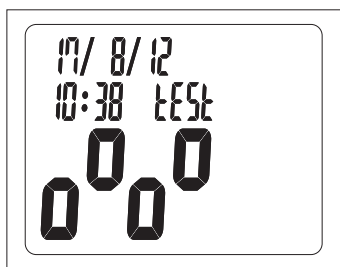
※約3秒たったら必ず簡易点検ガス容器を外してください。


3秒以上セットすると高濃度ガス測定になり、センサークリーニング・カウントダウンが長くなります。



## お知らせ


- 点検のときに簡易点検ガス容器の側面は押さないでください。
- ▶高濃度ガスがセンサーにかかりセンサー寿命に大きく影響を及ぼします。



4.簡易点検アタッチメントから簡易点検ガス容器を外し「」を押す。

簡易点検ガスを吸い込み解析を開始する。

## お知らせ

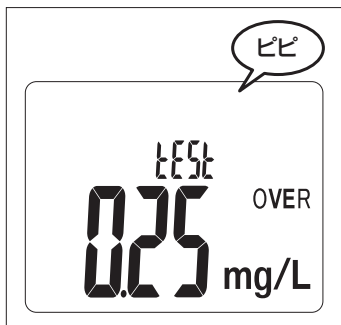
- 「START」が表示されてから約10秒以内に「」を押してください。

- ▶10秒以上たつと「Er01」が点滅し、「ピピピ…」と音が生じて電源が切れます。



# 簡易点検について(つづき)

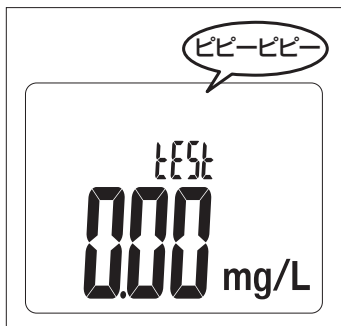
## 判定結果を表示する



5.判定結果が表示される。

センサーに異常がない場合

「ピピ」と音がして「0.25」と判定結果が表示されます。



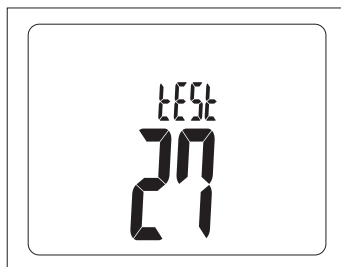
センサーに異常があった場合

「ピピーピピー」と音がして「0.00」が表示されます。

再度、簡易点検するかタニタサービスセンターにご連絡してください。



## センサークリーニング




### 6. センサークリーニング・カウントダウンを開始する。

センサークリーニングが終了すると電源が切れます。



※センサークリーニング中は測定できません。

## お知らせ

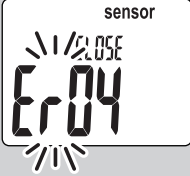
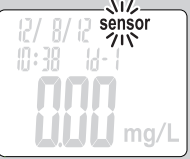
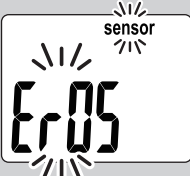
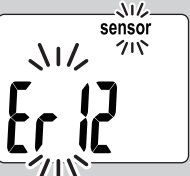
- 簡易点検を行うとセンサー使用回数が1回カウントされます。
- 判定結果は約10秒間表示されます。判定結果表示中にいずれかのボタンを押すと「センサークリーニング」に移行します。
- 以下の条件によってセンサークリーニング・カウントダウンの時間が異なります。
  - ▶測定結果0.00mg/L～0.25mg/L:約5秒間
  - 測定結果0.25mg/L以上:約25秒間～約175秒間
- 再度、簡易点検する場合は簡易点検ガス容器を手のひらで軽く温めてください。再度、簡易点検しても「」が表示された場合はタニタサービスセンターにご連絡ください。

## 故障かな？

現象	ご確認ください
測定結果が高めに出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●口の中にアルコール成分が残っていませんか？ ▶うがいをして再度測定してください。</li> <li>●食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか？ ▶うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。</li> <li>●本体に強いにおいがしみついていませんか？ ▶本体を数回振ってにおいを取り除いてください。</li> <li>●においがある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。</li> <li>●マウスピース、ストローホルダー、ストローににおいがしみついていませんか？ ▶マウスピース、ストローホルダー、ストローを水洗いし、よく乾かしてから再度測定してください。または新品と交換してください。</li> </ul>
測定結果が低めに出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●約5秒間、きちんと息を吹き込みましたか？ ▶息を吹き込む時は、約5秒間しっかりと吹き込んでください。</li> <li>●マウスピースが所定の場所にセットされていますか？ ▶マウスピースをもう一度所定の場所にセットしてから測定してください。</li> <li>●風のある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。</li> </ul>
測定結果が一致しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●風のある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。</li> <li>●においがある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。</li> <li>●口の中にアルコール成分が残っていませんか？ ▶うがいをして再度測定してください。</li> <li>●食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか？ ▶うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。</li> </ul>

現象	ご確認ください
飲酒していないのにアルコール濃度の数値が表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか？ ▶ うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。</li> <li>● においがある場所で測定していませんか？ ▶ 場所を変えて測定してください。</li> <li>● 本体やマウスピース、ストローホルダー、ストローの内部にお酒のにおいが溜まっていませんか？ ▶ マウスピース、ストローホルダー、ストローを数回振ってにおいを取り除いてください。 ▶ マウスピース、ストローホルダー、ストローをきれいに水洗いし、よく乾かしてから測定してください。</li> </ul>
心を押しても何も表示されない。または表示が全点灯してすぐに消える	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池が消耗していませんか？ ▶ 新しい電池と交換してください。</li> <li>● 電池が逆に入っていませんか？ ▶ 電池を正しく取り付けてください。</li> <li>● 電池の電極にゴミがついていませんか？ ▶ 電極のゴミを取り除いてください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「START」が表示されたら10秒以内に息を吹き込みましたか？ ▶ 「START」が表示されてから10秒以内に息を吹き込んでください。 ※いずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 吹き込みが不足していたり、吹き込みを中断していませんか？ ▶ 約5秒間息を吹き込んでください。 ※いずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。</li> </ul>

## 故障かな？ (つづき)

現象	ご確認ください
	<p>●システムエラーです。</p> <p>▶電池をご使用の時には電池をいれなおしてください。 シガーアダプターご使用のときは本器側のジャックをいれなおしてください</p> <p>▶改善されない場合は故障の可能性があるので、タニタサービスセンターにお問い合わせください。</p> <p>※いずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。</p>
	<p>『sensor』点滅</p> <p>●センサー使用時間、センサー使用日数を超えていませんか？</p> <p>※「定期メンテナンスの流れ」を参照してください。 (本書P.4参照)</p>
	<p>●センサー使用日数が400日を越えていませんか？</p> <p>▶タニタサービスセンターに、お問い合わせください。</p> <p>※「Er 05」が約5秒間点滅して電源が切れます。 ※「定期メンテナンスの流れ」を参照してください。 (本書P.4参照)</p> <p>※いずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。</p>
	<p>●センサー使用時間、累計約58時間以上 (約2100回<sup>*1</sup>の測定に相当)を超えていませんか？</p> <p>▶タニタサービスセンターに、お問い合わせください。</p> <p>※「Er 12」が約5秒間点滅して電源が切れます。 ※「定期メンテナンスの流れ」を参照してください。 (本書P.4参照)</p> <p>※いずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。</p>





\*1 0.05mg/L以上の呼気測定を続けた場合、センサーの使用時間が短くなります。

修理

タニタサービスセンター

受付時間 / 8:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・夏季休暇・年末年始は除く)

0187-66-2168

現象	ご確認ください
  	<p>●システムエラーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶電池をご使用の時には電池をいれなおしてください。 シガーアダプターご使用のときは本体側のジャックをいれなおしてください。</li> <li>▶故障のおそれがありますので、タニタサービスセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
	<p>●電池が消耗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶速やかに新しい単3形アルカリ乾電池2本と交換してください。 必ず2本同時に交換してください。</li> </ul>



# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.

# 仕様

検 知 方 式	燃料電池センサー
セ ン サ ー 寿 命	センサー使用日数365日以上経過、またはセンサー使用時間、累計約55時間以上(約20000回*1の測定に相当)になった場合(どちらか早い方)
乗 務 員 ID 登 録 メ モ リ ー	ID-1 ID-2 ID-3 300件(ID-1×100件 ID-2×100件 ID-3×100件)
呼 気 中 アル コ ー ル 濃 度 測 定 範 囲	0.00~0.25mg/L 0.01mg/L単位 (0.05mg/L未満は0.00mg/L表示)
電 源	DC3V 単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本 シガーアダプター(入力DC5V)
使 用 温 度 範 囲	5~35℃(結露なきこと)
保 管 温 度 範 囲	0~40℃(結露なきこと)
寸 法	約 幅72×高さ145×奥行33mm
質 量	約212g(乾電池含む)
主 な 材 質	ABS、PP(マウスピース)
生 産 国	中国
付 属 品	取扱説明書、保証書、お試用乾電池(単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本)、 収納ハードケース、マウスピース、センサーキャップ、 ストローホルダー、シガーアダプター、通信ケーブル(RS232C)
時 計 精 度	平均月差±30秒以内(常温)

\*1 0.05mg/L以上の呼気測定を続けた場合、センサー使用時間が短くなります。

\*デザインおよび仕様は予告なく変更する場合があります。

\*ストローは付属しておりません。ストローで測定する場合は市販のストローを購入してください。

\*簡易点検キットは付属しておりません。簡易点検を実施する場合は、簡易点検キット(オプション品)を購入する必要がありますので、

タニタオンラインショップ(URL <https://shop.tanita.co.jp/>)でお求めください。

## 株式会社 **タニタ**

本社・タニタ定期メンテナンス窓口 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

本社・お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

ホームページアドレス <https://www.tanita.co.jp/>

定期  
メンテ  
ナンス

タニタ定期メンテナンス窓口

受付時間 /9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・夏季休暇・年末年始は除く)

**03-3558-8118**

フリー  
ダイヤル



**0120-133821**

携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。  
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

お問い  
合わせ先

ナビ  
ダイヤル



**0570-783551**

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 /9:00 ~ 18:00 (土・日・祝日・夏季休暇・年末年始は除く)